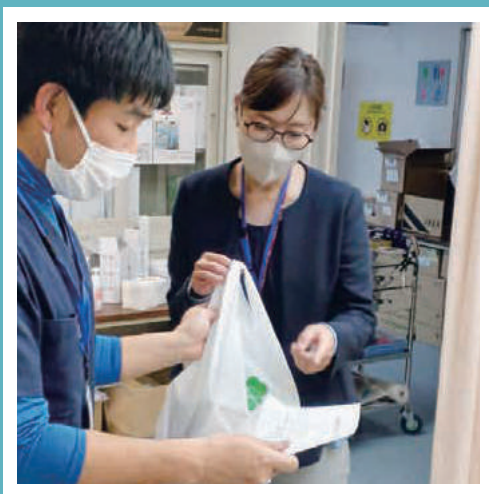
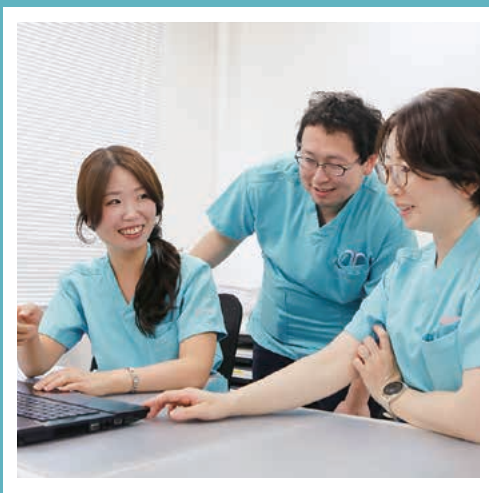
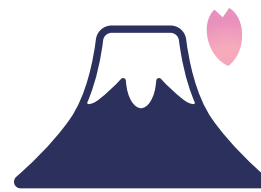






移転開院！清水さくら病院

2025
3.1

CONTENTS

- 03 清水さくら病院：移転開院
- 04 新任病院長紹介
- 05 役員メッセージ
- 06 **特集** 病院・施設紹介
 - 医療設備：清水さくら病院 健康管理センター
 - 医療設備：東京高輪病院
 - 施設紹介：千葉病院
 - イベント：諫早総合病院
 - 地域貢献：二本松病院
 - 地域交流・PR：東京新宿メディカルセンター
- 12 かえるチャレンジ！2025
- 13 ONE JCHO(理事長訪問)
- 14 JCHO認定キャリアアドバイザー(JCA)制度
- 15 病院機能評価：ワーキンググループの取り組み
- JCHO PHARMACIST



2025年3月1日、清水さくら病院（旧桜ヶ丘病院）がオープンしました。今まで地域で担ってきた内科二次救急と高度急性期病院からの後方連携を主体とした運営をさらに強化していきます。また、予防医療に力を入れ人間ドックの質の向上、MRIによるがん検診（全身・乳腺）など特色のある検診を推進していきます。地域住民の方に愛される病院になるよう職員一丸となって取り組んでいきます。



新任病院長紹介

地域に信頼される病院を目指し、組織一丸となって
着実に医療・介護の質の底上げを進めましょう：山本修一



小澤 浩司
(仙台病院)



堀江 久永
(うつのみや病院)



郷地 英二
(船橋中央病院)



橋本 政典
(東京山手メディカルセンター)



田村 晃
(東京蒲田医療センター)



石原 司
(山梨病院)



中辻 裕司
(高岡ふしき病院)



和田山 文一郎
(玉造病院)



大下 昇
(下関医療センター)

役員メッセージ

病院薬剤師育成担当非常勤理事
埼玉メディカルセンター薬剤部長

伊藤 典子



Where there is medicine, there are pharmacists

病院薬剤師が「もっと輝ける未来」に

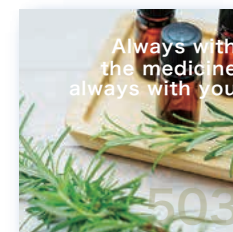
私が薬剤師になった1990年代初め、病院薬剤師の主な役割は調剤や医薬品の在庫・品質管理など、「薬を安全かつ確実に届けること」でした。

あれから30年、薬の世界も急速に高度化・複雑化し、医療現場では「チーム医療」が当たり前となる中で、病院薬剤師の役割も大きく変化し、拡大してきました。

従来の調剤・製剤・医薬品管理業務に加えて、病棟や外来、手術室などの専門部門も含む院内のあらゆる場面で、チーム医療の一員として活動することが求められています。さらに、医薬品の適正使用に基づく医療安全の推進や、医療経済の視点も重要な役割となっています。

がん・感染症・緩和ケアといった専門領域では、患者さんに寄り添いながら、薬の専門家として薬物療法を支援し、治療に貢献しています。こうした役割は薬剤師の重要な使命として認識され、大きなやりがいにもつながっています。

しかし今、全国的に「病院薬剤師が足りない!」という深刻な現実があります。人手不足は業務の制限を招き、医療の質や安全性の低下にもつながりかねません。その結果、病院薬剤師という仕事の魅力ややりがいが十分に伝わらず、志す人が減るといった悪循環が生まれています。そんな状況を変えるべく、JCHOでは今、薬剤師の確保と育成に力を注ぎ、さらなる専門性の向上にも本気で取り組んでいます。「薬あるところ薬剤師あり」これからの医療を支える重要な力として、病院薬剤師が「もっと輝ける未来」に向かって歩み続けます。



病院
医療設備

清水さくら病院

mirai
清水さくら病院健康管理センター



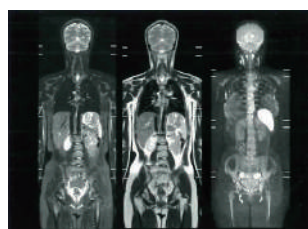
乳がん・全身がんのスクリーニング検査ができる
『ドゥイブス法』



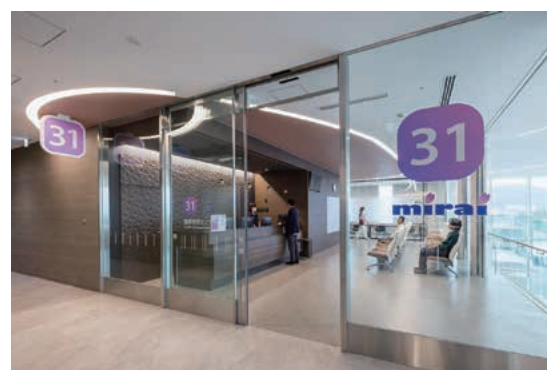
副看護師長（保健師） 若杉 あおい



ドゥイブス法による全身がん健診・乳がん健診を推進
（新しく導入したMRI）



頭部から骨盤までのがん検査が
一度のMRI撮影で可能！



無痛MRI乳がん健診

特徴

被ばく
しない

痛くない

見られない

造影剤の
投与なし

検査後
処置なし

がん発見
率が高い

時間が
短い

日本人
向き

* 豊胸術や乳房の手術後も検査可能です



清水さくら病院健康管理センターは**mirai**という愛称でスタートしました。地域住民みなさまの疾病を早期に発見すること、未来に続く健康をサポートしていくことが私たちの重要な役割です。その想いを込めて**mirai**（みらい）と名付けました。

健康診断では年齢や性別、生活習慣に合わせて必要なオプション検査をカスタマイズし、おひとりおひとりに合わせたオーダーメイド健診をご提案しています。

miraiでは、高精度で安心な検査を提供できるよう、DWIBS法MRI検診を行っています。痛みや被ばくを伴わず、かつ感度の高いMRIを行うことで癌検診にも力を入れています。

～私たちは「この病院に来て良かった」と言ってもらえることを最大の喜びとしています～という当院標語のもと、健診チームで連携し未来に続く豊かな生活を過ごすための健康づくりに取り組んでいます。

病院
医療設備

東京高輪病院

MRI 検査を少しでも快適に！

放射線科 診療放射線技師長 布施屋 一広



MRシアターシステムの様子



リラックスして検査を受けられます

MRI検査について皆さんは『狭く暗い中で行う苦痛な検査』のイメージがあると思います。当院では少しでも検査時の苦痛を和らげるためにMRI機器更新時にMRシアターシステムを導入しました。

MRシアターシステムは、患者さんにプロジェクタから投影した映像を見せることで、ボア内に設置したスクリーンに映像を投影することで臨場感の高い映像が目前に広がり特に頭頸部の検査を受ける方には高い評価をいただいています。

千葉病院



リハビリテーションにも活用、新駐車場と遊歩道
心やすまる病院環境への取り組み

病院長 岡住 慎一



千葉病院は、4月に新駐車場をオープンしました。先行して昨年3月に開院した新病院前ロータリーから直結し、両者を結び大網街道に沿って周回する遊歩道を併設しております。植栽のベルトを併走させて、桜、ハナミズキ、ヤマボウシ、ツツジ、ツゲ、シャリンバイなどの花木と、シマトネリコ、モミジ、カナメモチなどの樹木を配置しました。

来院される皆様や入院患者の方々の散歩道として、四季折々の花々や、新緑、紅葉を楽しんでいただき心休まる病院環境の実現を図っております。

当院にお越しの際は、是非歩いてみてください。20種の植栽がお迎えします。



諫早総合病院

和

を持って、次のステップへ

飛

躍します

2025 年度 目標 一文字

看護部長 吉田 佳織

新

しいことに

挑

んで、



思

相手を

い、

尊

敬し、

礼

を持って接し、信

頼

される看護部へ

楽

しく

笑

い合える、そして

安

心

して働ける

穩

やかな職場環境を

整

えます

諫早総合病院看護部では、新人看護師に看護管理者を知ってもらうこと、また看護部の動きや考えなどを伝え、環境に少しでも早く馴染んでもらうことで、やる気と離職防止につなげたいと考えています。

今年度の新人オリエンテーションでは、看護師長が今年度の自身の目標を一文字として挨拶の代わりに発表しました。また、その様子をポスターにし各部署へ配布しています。

二本松病院

えぬ ぶ かつ
「N・BU 活」

総務企画課 給与係長・厚生係長 岸部 佳弘



2023年8月に始まった二本松病院 N・BU活は、現場最前線で働く若手・中堅職員がメンバーとなり管理者方に意見を取り上げてもらうために活動を行っております。

お金をかけない工夫による収益増加を目指すほか、患者満足度向上に努めます。

委員会の名称はNihonmatsu Bottom Upに部活動をかけたものです。

これまでオプション健診導入、ボランティア清掃、病院Webサイト改修など実施してきました。

さらに活動の場を広げる予定ですので、N・BU活に乞うご期待ください！

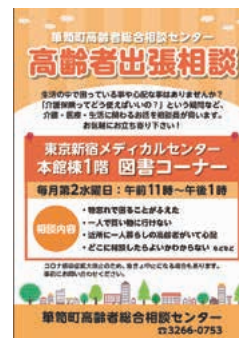
東京新宿メディカルセンター

地域が創る病院

病院が創る地域

広報企画委員会
総務企画課

山田 有希子



〈イベントスケジュール〉

4月3日(木)	2025年度第1回認知症サポーター養成講座 (スタッフ向け)	新人100名参加
5月28日(水)	市民講座「がんの体験を聞いてみよう」	30名参加 お葉書でお礼状も届きました
6月18日(水)	がん患者サロン「がんの体験を聞いてみよう、話してみよう」	がん患者さんで外科通院中の方 (当院以外も可)
7月11日(金)	がん患者サロン「こころのもちよう」	がん患者さんで外科通院中の方 (当院以外も可) とそのご家族
7月23日(水)	大山 弘翔バイオリンコンサート開催 SMC子ども夏祭り	ボランティアコンサート 子ども医療体験
7月24日(木)	2025年度第1回健康教室「足」	講師 整形外科 張成虎
7月25日(金)	神楽坂阿波踊り祭り	当院スタッフ90名参加
9月30日(水)	2025年度第2回健康教室「ACP」	講師 看護部
10月末予定	2025年度第2回認知症サポーター養成講座	どなたでも参加できます
11月14日(金)	2025年度第3回「お口のフレイル」	講師 歯科 中根綾子

毎月第2水曜日は筆筒町総合相談センターによる相談会を当院外来にて実施中

東京新宿メディカルセンターでは、「地域が創る病院、病院が創る地域」を目指し、地域とのつながりを大切にしながら、病院のファンを増やすとともに、職員のエンゲージメント向上にもつながるようなさまざまな活動に取り組んでおります。2025年度も「神楽坂あわおどり」「がんサロン」「ボランティアコンサート」「認知症サポーター養成講座」「健康講座」など、多彩なイベントを企画しております。受診時だけでなく、こうした機会にもぜひお気軽にお立ち寄りください。



かえるチャレンジ2025

今年も“かえる”チャンス到来！

JCHOでは、職場チームによる業務改善の取り組みに係る表彰制度を設けており、より多くの職員が気兼ねなく参加をしてほしいと考え、昨年度から「JCHO・かえるチャレンジ！」に名称を改めたところです。

今年度も、上位5組に選ばれたチームは「JCHO地域医療総合医学会」にてプレゼンテーションを行っていただきます。

第10回JCHO学会に参加される皆さまにおかれましては、是非会場にお越しください。

【掲載のご案内】

昨年度ご参加いただいた各チームの取り組みをポータルサイトに掲載しております。ご参考いただくとともに、各施設にてご活用ください。

＜昨年度の取り組み例＞

- ・地域が求める診療体制の確保
- ・多職種協働の取り組み
- ・患者向けQ&Aの作成
- ・節電による経費削減 など

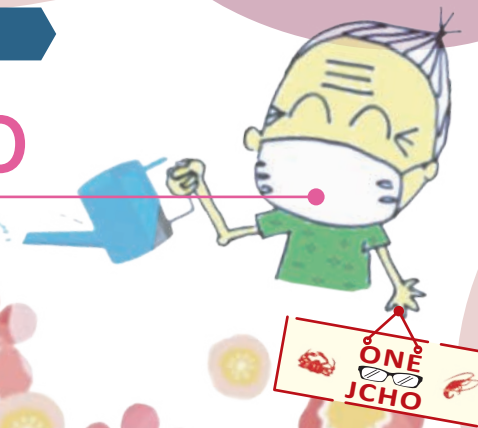


2024年度 参加病院一覧

- ・仙台病院 ・さいたま北部医療センター ・湯河原病院 ・三島総合病院 ・中京病院
- ・滋賀病院 ・京都鞍馬口医療センター ・大阪病院 ・神戸中央病院 ・大和郡山病院
- ・玉造病院 ・下関医療センター ・九州病院 ・久留米総合病院 ・松浦中央病院
- ・熊本総合病院 ・人吉医療センター ・宮崎江南病院 (全18病院、30チーム)

ONE JCHO

地域に「良質な医療」という種をまき
教育という水をやると
信頼という芽がでて
「JCHO」という花が咲く



宇和島病院



宮崎江南病院



四日市羽津医療センター



中京病院



玉造病院



松浦中央病院

JCHO認定キャリアアドバイザー(JCA)制度

私たちは、看護サービスの量と質の側面から看護力拡充策を推進し、法人全体の経営向上につなげるように「JCHOナース1.3万人総活躍プラン」に取り組んでいます。

1.3万人総活躍プランの中のJCA制度は、JCHOに勤務する看護職員が「JCHOナース」として成長しながらいきいき働き続けられるよう、専門職としての能力向上・能力開発・職業継続に関する相談に応じ支援することで、多様な看護人材の確保・活躍を図るために創設されました。同時にキャリア支援・開発に関する課題に対して管理者とともに検討し組織の発展に寄与することを目的とします。



研修の様子



JCHO認定「キャリアアドバイザー」によるキャリア形成・支援

- ・タスク・シフト/シェアの推進
- ・看護補助者・介護福祉士との協働
- ・看護職の副院長への登用
- ・看護DXの推進



看護師の実践・
管理能力の向上

- ・職位別研修の実施 ・地域連携力の強化
- ・認定看護管理者教育課程の実施
- ・キャリアラダー、マネジメントラダーの活用
- ・東京医療保健大学との連携
- ・研究・研修受講の支援
- ・JCHO認定「キャリアアドバイザー」によるキャリア形成・支援
- ・看護系大学との連携
- ・実践配置を見据えた特定行為研修の計画的受講の促進
- ・JCHO看護師キャリアパスの作成・活用促進
- ・PFMの要としての能力強化

生き生きと活躍できる
環境づくり

JCHOナース
1.3万人
総活躍プラン

～地域住民の幸福な生活を
支えるための看護力拡充～

- ・介護職との連携によるケアの充実
- ・特定行為研修修了者の活動の促進
- ・夜勤負担の軽減

JCHOナースとは…
JCHO看護理念に基づき、地域医療・地域包括
ケアの要として多職種・多機関と連携する能力
をもつ看護師である。

きめ細やかな人材確保
JCHOナース育成

- ・採用活動支援
- ・JCHO病院間の看護師派遣、研修出向
- ・教育機関、行政との人事交流
- ・看護学生の修学支援
- ・JCHOマインドをもった看護師養成
- ・採用内定者の辞退防止策
- ・経験者の積極的採用と
「キャリアアドバイザー」によるサポート
- ・看護系大学等との連携、卒前看護教育

病院機能評価

～ワーキンググループの取り組み～

東京新宿メディカルセンター 病院長 関根 信夫
(病院機能評価受審促進ワーキンググループ 座長)

当WGは「JCHO病院の機能評価受審支援」「JCHOサーベイヤーの育成」を目的に昨年度より活動を始めています。今年度は29病院が受審しますが、WG所属のサーベイヤー(診療・看護)が各病院からの要請に応え、実際に訪問して、本番さながらの「リアル」なサーベイを披露(?)、助言を行い、各病院が自信を持って受審されるよう支援しています。昨年度、東京新宿MCでは、新たに2名の看護サーベイヤー！を輩出、今後の活躍に乞うご期待！



JCHO薬剤師確保大作戦

～ポリバレントファーマシスト育成が始まりました～

東京新宿メディカルセンター 薬剤部長 片山 歳也
(本部医療課 薬事専門職)

JCHO病院薬剤師が不足している現状をうけて、その打開策として、教育の充実と処遇改善に取り組みました。JCHO薬剤師レジデント育成プロジェクトとして、JCHO薬剤師教育研修実行委員会において、「JCHOポリバレントファーマシスト育成プログラム」を策定しました。このプログラムに基づき、急性期から慢性期における効果的な薬物療法支援やチーム医療を推進し、地域医療に貢献できる薬剤師の育成を目指しています。





JCHO本部理事
と病院長

東京都保健医療局長

医心伝心

2025年度JCHO NEWSの特集として、各病院・施設の紹介シリーズを連載します。

様々な医療・施設の紹介、イベント、地域との交流、地域貢献、マーケティング・PR関連の取り組み等、多くの情報を共有していくことを目的としております。

表紙デザインも一新、JCHOで活躍するみなさんの活躍中の一コマを展開します。初回はメディカルスタッフ、以降は、JCHOナース、ドクター、事務職員などを予定しております。

みなさまからの情報・写真・資料の提供をお待ちしております。今後共、JCHO NEWSをよろしくお願い致します。

2025年3月に東京高輪病院、東京新宿メディカルセンター・東京山手メディカルセンター・東京城東病院及び東京蒲田医療センターの5病院長と本部の衣笠理事が、(独)国立病院機構・(独)労働者健康安全機構とともに、東京都の雲田保健医療局長と面会し、要望書を手交しました。

当日は各病院から、日頃の取り組み及び東京都の支援への感謝を伝えるとともに、厳しい財政状況を説明し、今後、JCHOについても他の民間病院と同様に東京都の財政支援の対象としていただくよう、要望を行いました。

都の医療行政のトップと公的医療機関の経営層とが一堂に会して意見交換を行う、非常に充実した時間となりました。



独立行政法人
地域医療機能推進機構

JCHO Japan Community Healthcare Organization



本 部

〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12 ☎ 03-5791-8220

<https://www.jcho.go.jp>



JCHOは、これからも地域と共に、皆さまと一緒に歩み続けます！